

## 子どもの癖と付き合い方

癖は子どもだけのものではありません。大人にだってありますよね。ふわふわしたタオルや毛布、ずっと長い付き合いのぬいぐるみ、指しゃぶり等、数えきれない程さまざまな癖はあります。子どもにとっては傍にあるだけで安心感のあるものなのですが、大人は子どもの心を考えず、見た目にとらわれ、何とか癖を直そうとしか考えていないのではないのでしょうか。

お母さんがあせって離そうとすればするほど、子どもは離せなくなります。それは持っていることが安定剤なのですから。安定剤を無理に取れば不安定になるだけです。

子どもが今それを必要としていることをまず心から受け止めてあげましょう。好きな遊びをじっくり楽しめるようになったり、活動的な遊びをするようになったり、他の部分で満足できるといつの間にか癖に執着しなくても大丈夫になるのです。それまでは快く見守ってあげたいものですね。



子育て応援カード 11  
鶴岡市子育て支援推進委員会